

これだけは覚えよう！重要ポイント

同符号の加法

同じ符号 + 絶対値の和

異符号の加法

大きい方の符号 + 絶対値の差

ゼロになる条件

$$(+a) + (-a) = 0$$

Q. 正負の足し算は？ 同符号なら符号そのまま+絶対値の和、異符号なら大きい方の符号+絶対値の差。

① 同符号 (+と+)

基本

符号はそのまま。絶対値を足す。

$$(+3) + (+5) = +8$$

② 同符号 (-と-)

基本

符号はマイナス。絶対値を足す。

$$(-3) + (-5) = -8$$

③ 異符号

重要

絶対値が大きい方の符号。絶対値の差を計算。

$$(+5) + (-3) = +2$$

④ ゼロペア

応用

絶対値が同じで符号が逆なら0になる。

$$(+3) + (-3) = 0$$

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 符号を間違える

✖

$$(-3) + (-5) = +8$$

○

$$(-3) + (-5) = -8$$

同符号のマイナスどうしは答えもマイナス。

⚠️ 異符号で「和」を計算

✖

$$(+5) + (-3) = 8$$

○

$$(+5) + (-3) = +2$$

異符号は「差」を計算。5-3=2。

最終確認チェックリスト

- 同符号は「符号そのまま+和」を覚えたか？
- 異符号は「大きい方の符号+差」を覚えたか？
- 絶対値が同じで符号が逆なら0になることを理解したか？